



水土里情報活用した災害復旧事務支援システムについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット島根、島根県、県内11市町

取組概要

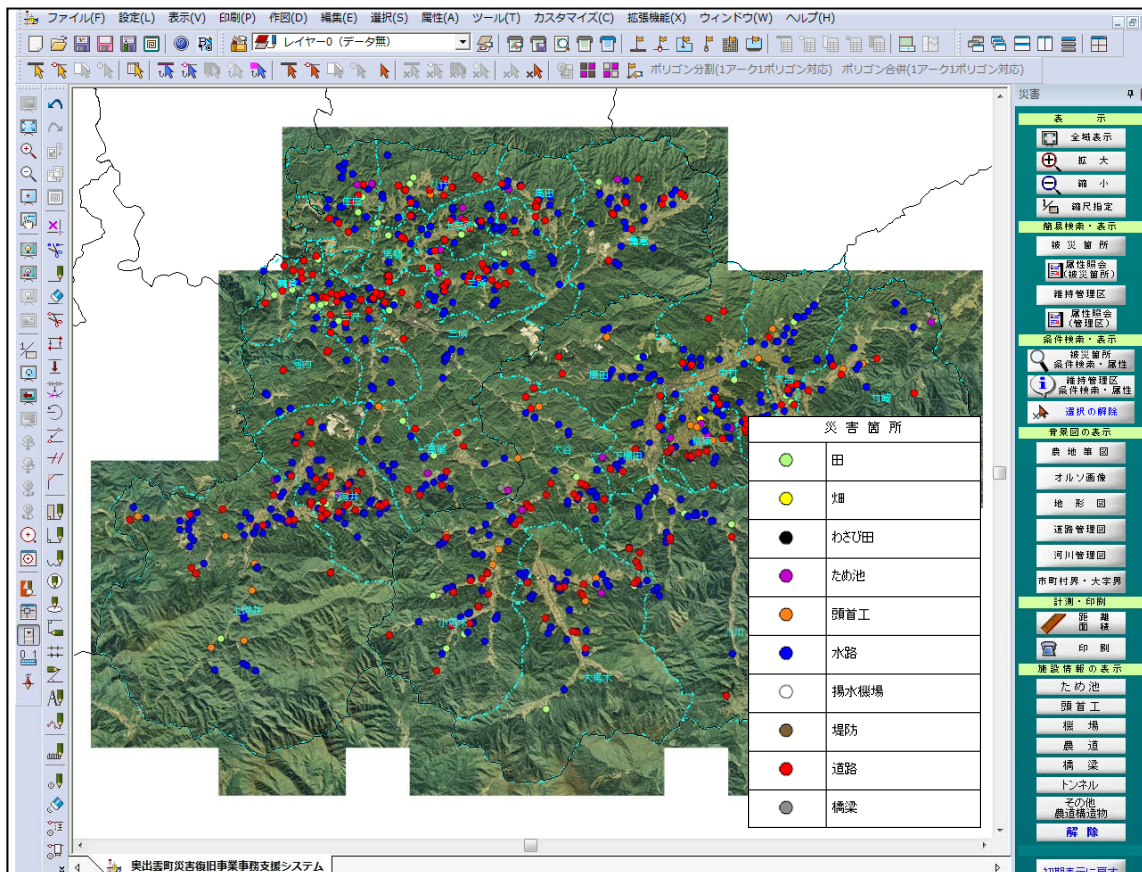
内容: 水土里情報利活用促進事業により整備したオルソ画像、地形図、農地筆図(地籍図)を背景とし、過去に発生した災害の被災箇所、維持管理区を表示して、誰でも簡単に被災情報を検索できます。また、農道、水路、ため池等の農業水利施設や河川、市町村道などの公道も表示し、施設の各種属性情報を参照して効率の良い災害復旧事務を支援します。

経緯: 平成の大合併に伴い市町は管轄するエリアが広域となり、一方で担当職員が減少する中、被災位置の特定や維持管理区の設定状況の把握をするにも多くの時間と労力を費やす状況がありました。そこで平成23年度に発生した災害を契機にシステム運用を開始し、現在までに11市町で利用され今後も導入拡大が見込まれます。

○平成23年度: 3市町がシステム利用

○平成24年度: 7市町がシステム利用

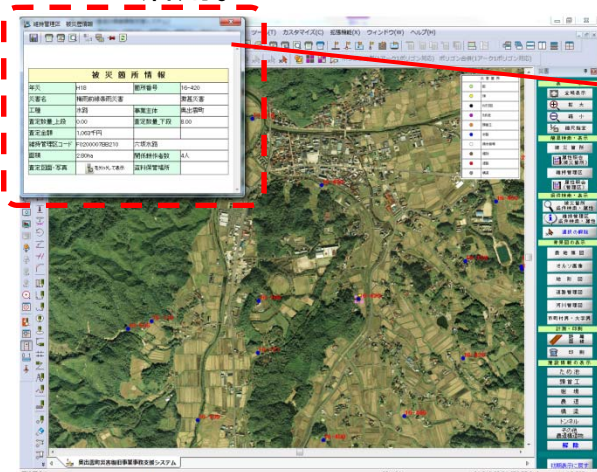
○平成25年度: 11市町がシステム利用(7~8月の豪雨災害により利用拡大)



【過去の被災箇所を工種別に表示】

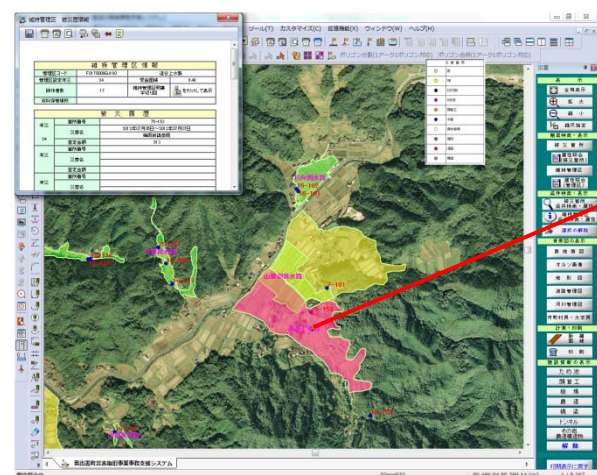
期待される効果

- ①被害報告を受けた被災箇所周辺の把握をGISにより迅速かつ正確に実現。
- ②過去の被災情報から受益面積、関係耕作者数等を取得し、査定票等の各種書類作成を省力化。
- ③設定済み維持管理区の子切り図を印刷して、査定時の被災箇所周辺説明図として活用。



被災箇所情報			
年災	H18	箇所番号	16-420
災害名	梅雨前線豪雨災害		激甚災害
工種	水路	事業主体	奥出雲町
査定数量_上段	0.00	査定数量_下段	8.00
査定金額	1,063千円		
維持管理区コード	F0200007BB210	六坂水路	
面積	2.80ha	関係耕作者数	4人
査定図面・写真		資料保管場所	

過去の被災情報



設定済みの維持管理区情報

維持管理証明書

今後の活用予定

年災ごとの被災情報を継続的にデータ登録することにより、正確で精度の高い情報処理を実現する。今後は、災害多発地域の分析や水土里情報で整備された施設情報やハザードマップと関連づけて、地域防災の資料として活用を目指す。

■お問い合わせ先

島根県農林水産部農地整備課(防災グループ)	0852-22-5150
島根県土地改良事業団体連合会(水土里情報センター)	0852-32-4141
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添)	03-6744-2212(直通)